

スピーカーズ コーナー

広報委員が地域の皆さんに
インタビュー!

地域の未利用魚などに付加価値をつける、
商品開発を17年以上続けている、

式根島おさかなサービスの皆さんにお話を伺いました。

(取材/吉見一之)

吉見/活動のきっかけやコンセプトは?

おさかな/平成18年に離島再生事業費補助金を受け、「未利用魚等を加工商品にして有効活用する」というコンセプトで当時の式根島漁協女性部を中心に発足しました。

吉見/当時は本村や若郷地区もそれぞれのコンセプトで発足しましたが、現在も活動を続けているのはおさかなサービスだけになってしまいましたね。

おさかな/そうですね。当初のコンセプトを変えずに活動しているのは、うちだけになってしまいました。よくぞ今まで続いた!と思います。

吉見/主な商品は?

おさかな/時季によって違いますが、よく売れるのは赤いかやキンメダイの一夜干しで、お歳暮やお中元などに重宝されています。でも原価が高騰したり、水揚げが無かったりで魚の確保に苦心しています。

吉見/今まで活動してきて苦労したことは?

おさかな/苦労の連続でした!当初は地元漁業者ともうまく連携が取れなかったり、メンバーは皆本業のかわら女性部の活動も同時にこなしているの、人手不足のなか納期に間に合わせたりの連続でした。なかでも一番苦労するのは魚の調達です!

吉見/逆に良かったことは?
おさかな/お客様に喜んでもらえるときは、本当に嬉しいですし、やりがいを感じます。

吉見/今後の活動は?

おさかな/今後もずっと活動を続けていきたい!ですが、行政の補助なしでは到底運営できないので、今後とも

補助を続けていただきたいと思います。
吉見/行政に対して要望等ありますか?

おさかな/現在拠点としている式根島漁協の加工場は、老朽化が激しく修繕が必要な状態なのですが、景気が悪いなか漁協が修繕する余裕はないと思うので、可能ならば行政に支援していただきたいと思います。

吉見/皆さんとても明るく、並大抵の苦労は笑い飛ばしてしまいうエネルギーを感じました。今後さらなる躍進を期待します。



▲左うしろから 渡辺さん、前田さん、西村さん
左前から藤井さん、宮川さん、津山さん

式根島漁業再生プロジェクト
(おさかなサービス)

メンバー: 肥田英文さん(代表)、渡辺浩子さん(副)、藤井静枝さん(会計)、宮川みゆきさん、西村麻理子さん、前田咲子さん、津山千登世さん、西村恵美さん、西村芳之さん、渡辺登馬さん
お問い合わせ: 式根島観光協会
または 090-2182-9372まで



▲商品 (新島農協にて)